

## 【中学校・2年・美術・「なぜなぜアート探偵団」】

育成を目指す資質・能力

B4（表現・制作）

B5（家庭学習）

身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。

**ICT活用のポイント** 【活用したソフトや機能】 カメラ機能 学習支援ソフト

カメラ機能を活用することで、身近な対象の「美しさ」について、意見交換をすることができる。

### 学習の流れ

カメラ機能の使い方や画像の保存方法を知る。

試しに教室内で写真を撮影してみる。

【授業外】 端末を持ち帰り、身近な「美しさ」を見つけて、撮影する。

写真を学習支援ソフトで共有し、感じた印象をコメント等で伝え合う。

### 事例の概要

事前に、生徒が休日に端末を持ち帰り、「身近なものや風景から見つけた美術」というテーマで写真を撮っておく。自分やクラスメートが撮影してきた写真を学習支援ソフトで共有して、それぞれの写真に含まれる造形的な要素や全体のイメージから感じた雰囲気について、コメントを付けて交流する活動を行った。

コメントには写真の感想を書くというだけでなく、「共通事項」（1）のアとイの視点から具体的に記述できるように指導を行った。また、写真の印象がどういった造形的な要素から感じられたのかを話し合う場面を設定し、美術科における「知識」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成できるようにした。

## 【中学校・2年・美術・「なぜなぜアート探偵団」】

### 【事例におけるICT活用の場面①】



### 【事例におけるICT活用の場面②】



### ICT活用のポイント

本題材では、1人1台端末のカメラ機能を活用し、それぞれの生徒が発見した身近な「美」について鑑賞する学習を行った。これまでも表現や鑑賞の学習に写真を活用する実践を行ったことはあったが、個人が1台ずつカメラを持つことができなかったため、待ち時間が多くなってしまう点が課題であった。今回、GIGAスクール構想の下、1人1台端末が整備されたことによって、個人の学習活動に十分に組み入れるようになった。

また、本題材では、写真をクラウド上で共有することで、同時に複数の生徒が鑑賞したり、コメントを付けたりすることができた。これにより、クラスメートが写真のどの部分に着目し、どのように考えたのかが理解しやすくなった。作品に対する見方や感じ方を深めるためには、自分だけの鑑賞だけでなく、他者との対話的な学びも必要である。実際の話合い活動に加えて、コメント機能を活用することも効果的だと感じた。

写真や動画を活用することで表現や鑑賞の幅が広がるので、今後はこのような実践にも積極的に取り組んでいきたい。

## 中学校2年・美術 「なぜなぜアート探偵団」

～身近に隠された「美」を見つけ出そう！～

使用機器：プロジェクター 使用したソフトや機能：カメラ機能、学習支援ソフト



### 〈ICT活用のポイント〉

- ①カメラ機能を活用することで、それぞれの生徒が発見した身近な対象の「美しさ」について、意見交換をすることができる。
- ②クラウド上で写真を共有することで、同時に複数の生徒が鑑賞したり、コメントを付けたりすることができる。

### 1 題材の目標

それぞれが撮影してきた写真を鑑賞する活動を通して、身近な環境の中に見られる美しさを感じ取るとともに、それらのイメージがどういった造形的な要素から生まれているのかについて考え、見方や感じ方を深める。



### 2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
形の規則性や連続性、構造、色彩や配色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。	身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

### 3 題材について

本題材は、今年度より各小中学校に配備された1人1台端末（chromebook）を活用した実践である。本校の端末は、Wi-Fi環境がなくてもカメラアプリを使用することができる。この点を活かし、生徒が休日に端末を持ち帰り、「身近なものや風景から見つけた美術」というテーマで写真を撮ってきた。授業では、自分やクラスメートが撮影してきた写真を学習支援ソフト上で共有して、それぞれの写真に含まれる造形的な要素や全体のイメージから感じた雰囲気について、コメントを付けて交流する活動を行った。

コメントには写真の感想を書くというだけではなく、〔共通事項〕（1）のアとイの視点から具体的に記述できるように指導を行った。また、写真から感じる印象がどういった造形的な要素から感じるのかを話し合う場面を設定し、美術科における「知識」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成できるようにした。さらに、「美」を感じる対象が多様であることを知ることで、美術文化についての見方や感じ方を深める学習になることを願い、本題材を設定した。

#### 4 指導と評価の計画（2時間）

時間	学習内容	評価の観点					指導上の留意点 【評価方法】
		○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価					
		知識	技能	発想 構想	鑑賞	態度	
1	1. 教室で、身近な「美」を見つけよう ・身近な「美」を見つける視点をもつ。 ・試しに教室内で写真を撮影してみる。	○			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCのカメラ機能の使い方を説明する。</li> <li>・肖像権に気を付けることを伝える。</li> </ul> <b>【取組の様子】</b>
	授業外						
2	2. 見つけた「美」を交流しよう ・写真を共有して、感じた印象を伝え合う。 ・またなぜそう感じるのかを考察する。	◎			◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中はCの生徒への指導に重点をおき、Aの生徒は、ワークシート等から判断する。</li> </ul> <b>（評価方法）</b> <b>【交流活動の様子】</b> <b>【ワークシート】</b>

#### 5 ICTの効果的な活用について

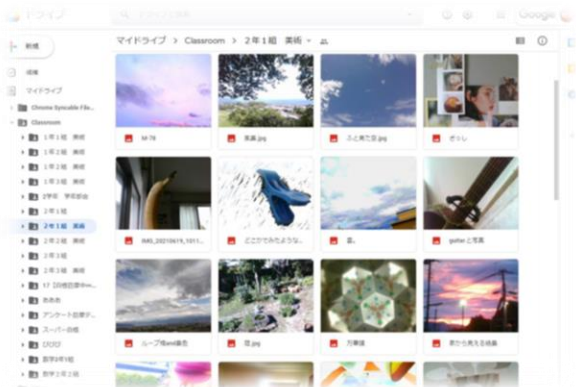
本題材では、1人1台端末のカメラ機能を活用し、それぞれの生徒が発見した身近な「美」について鑑賞する学習を行った。これまでも表現や鑑賞の学習に写真を活用する実践を行ったことはあったが、個人が1台ずつカメラを持つことができなかったため、待ち時間が多くなってしまっていたことが課題であった。今回、GIGAスクール構想の下1人1台端末が整備されたことによって、個人の学習活動に十分に取り組めるようになった。



また、本題材では、写真をクラウド上で共有することで、同時に複数の生徒が鑑賞したり、コメントを付けたりすることができた。これにより、クラスメートが写真のどの部分に着目し、どのよう

に考えたのかが理解しやすくなった。作品に対する見方や感じ方を深めるためには、自分だけの鑑賞だけでなく、他者との対話的な学びも必要である。実際の話合い活動に加えて、コメント機能を活用することも効果的だと感じた。

写真や動画を活用することで表現や鑑賞の幅が広がるので、今後はこのような実践にも積極的に取り組んでいきたい。



# 「なぜなぜアート探偵団」



～身近に隠された「美」を見つけ出そう!～

【ひとことメモ】

2 年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

それぞれの写真から、**どのような感じ**を受けましたか？

さんの写真	さんの写真	さんの写真
「   」	「   」	「   」

【授業の振り返り】

この時間を通して、「**どんな美に出会えましたか**」

知識・技能

自己評価	
<b>A</b>	.....
<b>B</b>	.....
<b>C</b>	.....

この時間を通して、「**あなたの見方や感じ方が**

思考・判断・表現

**深まった(変化した)と思うのは どのところですか**」

自己評価	
<b>A</b>	.....
<b>B</b>	.....
<b>C</b>	.....



